

生物多様性の回復に向けた 在来種植栽フォーラム2016

「江戸のみどり復活事業」とは、生物多様性を回復させる取組の一つとして、東京都と先駆的な在来種植栽を行っている企業が連携し、実際の植栽地をフィールドとして活用しながら、在来種植栽の管理方法や効果的な普及啓発策等を多角的に検討する事業です。

本フォーラムでは、事業成果を報告するとともに、在来種植栽という新たな緑化が持つ今後の可能性について幅広い視点で議論します。

基調講演 生命を育む都市の生態系の新たな展望

講演 亀山 章 東京農工大学名誉教授



成果報告 東京の新たな都市緑化を目指して

報告 内藤 義和 東京都環境局自然環境部 緑施策推進担当課長



パネルディスカッション 在来種植栽の実際 ～現場から見たもの～

コーディネーター

三輪 隆

一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ 持続的土地利用WGリーダー
(株式会社竹中工務店技術研究所)

パネリスト

亀山 章

東京農工大学名誉教授

田邊 雄索

株式会社フジクラ 不動産カンパニー 開発プロジェクトマネージャー

浦嶋 裕子

三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室 課長

峰崎 善次

森ビル株式会社 環境推進室 参与

梅田 光司

東京都植木農業協同組合 代表理事 組合長

内藤 義和

東京都環境局自然環境部 緑施策推進担当課長



開催日時：平成28年1月27日（水）14:00～17:00（受付開始13:30）

開催場所：牛込筆筥区民ホール（裏面案内図参照）

主催：東京都

共催：株式会社フジクラ、三井住友海上火災保険株式会社、森ビル株式会社（江戸のみどり復活事業 参画企業）

参加費：無料

定員：330名（先着順）

生命を育む都市の生態系の新たな展望



東京農工大学
名誉教授 亀山 章

農学博士。1968年東京大学農学部農業生物学科卒業後、厚生省国立公園局技官、信州大学農学部助教授、教授を経て、東京農工大学農学部教授ののち同大名譽教授。日本造園学会上原敬二賞ほか多数受賞。日本自然保護協会 理事長。

江戸時代末期の江戸のまちを描いた歌川広重の浮世絵版画「名所江戸百景」は、当時の江戸のまちとそこに住む人々の生活とともに、その背景となる自然を克明に描いています。まちにはモミヤアカマツなどの針葉樹が多く、今では絶滅しているコウノトリなどの動物が生息していたことも知ることができます。しかしその自然は、明治維新後のわが国の近代化のなかで、都市化と工業化にともなう急激に変化してきました。その結果、都市に固有なゆがんだ生態系である都市生態系が形成されてきたのです。

都市化と工業化が極度にすすんだ江東区木場の「深川ギャザリア」につくられた「フジクラ 木場千年の森」の池には、オープンして2日目にコサギが飛来して関係者を喜ばせたといわれています。また、港区六本木近辺のアーキヒルズ仙石山森タワーにつくられた小さな池には、アマガエルが数多く生息し、ショウジョウトンボのヤゴを確認することができました。

このように、絶滅状態に近い生きものたちは、ひっそりとしのびながら生命を伝え続けて、生息場所が与えられるチャンスを待っているのです。その可能性は、わずかではありますが残されていることが確信され、絶滅前に「まだ間に合う」ことが実感されるのです。このような状況のもとで、「江戸のみどり復活事業」は、まさに、現在の私たちが取り組むべき喫緊の課題に応えるものです。今回のフォーラムでは、東京都環境局の「植栽時における在来種選定ガイドライン」などを参考にしながら、生態系復元の可能性について環境ポテンシャルの評価をもとにして、考えてみたいと思います。

「江戸のみどり復活事業」参画企業のご案内

株式会社フジクラ

江東区木場「深川ギャザリア」の「フジクラ 木場千年の森」は、在来植栽によって江戸期の状況を再現し、生物の生息と人々の安らぎの場を目的に設営されました。

今では、旺盛な緑と清らかな池水が、多くの鳥や昆虫達に恰好な環境となっています。企画から現在までの経過及び客観的な評価から今後の姿を模索していきます。



三井住友海上火災保険株式会社

千代田区神田駿河台の駿河台ビル・駿河台新館は、総敷地面積の40%以上に相当する緑地で覆われています。皇居と上野公園をつなぐエコロジカル・ネットワークの形成を目的に、在来種中心の鳥や蝶が好む樹種を植栽しているほか、薬剤散布に頼らない緑地管理を実施し、その効果を継続的にモニタリングするなど、在来植栽の効果・検証を進めています。



森ビル株式会社

アーキヒルズ仙石山森タワー（港区六本木～虎ノ門）は、在来植物による高低木から地被類までの林層構成をもち、生物のすみかとなる枯木の設置や、敷地表土の保存・利用、可能な限り薬剤を使わない維持管理など、生物多様性に配慮しつつデザインし運営されています。

本事業では、捕食動物活用による害虫発生抑制や在来植栽の維持管理負荷要因の検証、地域種苗による芝生地の自然草化化などに取り組んでいます。



生物多様性の回復に向けた在来植栽フォーラム2016

申込期間：平成27年12月7日（月）から平成28年1月20日（水）

定 員：330名（先着順）

申込方法：ファックスまたはメールにて、①催し名（在来植栽フォーラム2016）、②参加者全員の氏名・ふりがな、③代表者の連絡先（電話番号、ファックス番号またはメールアドレス）を記載し、下記あてにお申込みください。申込書を使用する場合は、下記案内ホームページからダウンロードできます。参加の可否については、ファックスまたはメールにてお知らせします。

【案内ホームページ】 http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/green/edo_midori/index.html

【申込先ファックス】 03-3409-3862

【申込先メールアドレス】 MLzairai@ml.serco.co.jp（申込窓口：株式会社セルコ）

問合せ先：東京都環境局自然環境部計画課 03-5388-3548（直通）

*申込によって得られた個人情報は、「在来植栽フォーラム2016」のご案内以外には使用しません。

会場案内図

